

2021年10月05日

報道関係者各位

東急不動産ホールディングス株式会社

サステナビリティ・リンク・ボンド 発行条件決定に関するお知らせ

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典）は、2021年9月3日にお知らせしました、ESG債の長期発行に関する方針“WE ARE GREEN”ボンドポリシーにおける第一弾となるファイナンスとして公募形式のサステナビリティ・リンク・ボンド（※1）について、本日下午記の通り発行条件を決定したことをお知らせします。

（※1）サステナビリティ・リンク・ボンド

あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs※2）を達成するか否かによって条件が変化する債券。調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されない。

（※2）SPTs

サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）とは重要な評価指標（KPI）に関して達成すべき目標として設定されるもの。

1. 本発行の目的及び背景

当社は、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」で環境経営を重要な課題の一つとして掲げており、気候変動に関する目標を定めております。本発行のSPTsは、この気候変動に関する目標と同様としており、資金調達を通じて、長期ビジョンの実現を推進し、サステナブルな社会と成長を目指すとともに、当社グループのESGへの取り組みについて債券投資家を含むステークホルダーのみなさまに、より一層認知頂く契機になるものと考えております。

気候変動に関する目標



本発行のフレームワークは、環境省とその請負事業者（株式会社格付投資情報センター及び株式会社グリーン・パシフィック）により、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則2020（ICMA）」に適合すると確認されました。加えて、環境省の「令和3年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業に係るモデル発行事例」に応募し、モデル性を有する事例と評価を受け、モデル事例として選定されております。

(<http://www.env.go.jp/press/109928.html>)

また、株式会社日本格付研究所より、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則2020（ICMA）」に適合している旨の第三者意見書を取得しています。

(<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

当社はこれまで、グリーンボンド、サステナビリティボンドを発行し、併せてESGローンを調達して参りました。今後も“WE ARE GREEN”ボンドポリシーに基づきESG債を継続発行し、債券投資家を含むステークホルダーのみなさまとともにサステナブルな社会と成長を目指して参ります。

2. 本発行の概要

名称	東急不動産ホールディングス株式会社第 26 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
発行年限	10 年
発行額	100 億円
利率	0.300%
条件決定日	2021 年 10 月 5 日
発行日	2021 年 10 月 11 日
償還日	2031 年 10 月 10 日
取得格付	A (株式会社日本格付研究所)
SPTs	SPT1：2030 年度に温室効果ガス 46.2%削減 SPT2：2025 年度にカーボンマイナスを達成 (自社の CO2 排出量を再生可能エネルギー創出などによる削減貢献量が上回る状態)
判定後の債券特性	判定時に SPTs の未達が確認された場合、償還日に以下の金額を「緑をつなぐプロジェクト」に関連した寄付先、その他類似の環境貢献団体等に支払う SPT1：社債発行額の 0.25% SPT2：社債発行額の 0.25%
主幹事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、大和証券、みずほ証券、野村證券
Structuring Agent	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券

適格性	環境省とその請負事業者（株式会社格付投資情報センター及び株式会社グリーン・パシフィック）により、本社債のフレームワークは、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020 (ICMA)」に適合すると確認されました。加えて、環境省の「令和 3 年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業に係るモデル発行事例」に応募し、モデル性を有する事例と評価を受け、モデル事例として選定されております。また、株式会社日本格付研究所より、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020 (ICMA)」に適合している旨の第三者意見書を取得しています。
-----	--

3. 本サステナビリティ・リンク・ボンドへの投資表明投資家

本サステナビリティ・リンク・ボンドへの投資を表明して頂いた投資家をご紹介します。

（2021年10月5日現在、五十音順）

- ・ あいち海部農業協同組合
- ・ いわき信用組合
- ・ 蒲郡信用金庫
- ・ 桐生信用金庫
- ・ 埼玉県医師信用組合
- ・ 信金中央金庫
- ・ 瀬戸信用金庫
- ・ 大東京信用組合
- ・ 東京シティ信用金庫
- ・ ニッセイアセットマネジメント株式会社
- ・ 飯能信用金庫
- ・ ブラックロック・ジャパン株式会社
- ・ 三井住友海上火災保険株式会社
- ・ 結城信用金庫
- ・ 飯塚信用金庫
- ・ 蒲郡市農業協同組合
- ・ 岐阜信用金庫
- ・ 呉信用金庫
- ・ しののめ信用金庫
- ・ 諏訪信用金庫
- ・ 第一生命保険株式会社
- ・ 東京海上アセットマネジメント株式会社
- ・ 長野信用金庫
- ・ 浜松磐田信用金庫
- ・ 富士宮信用金庫
- ・ プルデンシャル生命保険株式会社
- ・ 宮崎第一信用金庫

■“WE ARE GREEN”ボンドポリシーについて

当社長期ビジョン「GROUP VISION 2030」に基づく新たな資金調達の様組みとして策定した、ESG債の長期発行方針のことを指します。

詳細は以下のリリースをご覧ください。

国内初、ESG債の長期発行方針「“WE ARE GREEN”ボンドポリシー」を策定

～第一弾として「サステナビリティ・リンク・ボンド」を発行～

(<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/news/pdf/2632.pdf>)

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

東急不動産ホールディングス株式会社 広報室 報道担当 林 MAIL：tlc-hodo@tokyu-land.co.jp

※東急不動産ホールディングスでは、新型コロナウイルス感染症予防のため在宅勤務を実施中です。お手数をおかけし大変申し訳ありませんが、メールにてお問い合わせいただきますようお願いいたします。